

“Aerospace & Defense Supplier Summit Seattle (A&DSS) 2021” にオンライン参加 “JA2024” を告知

2024年 国際航空宇宙展（JA2024）の告知、出展者誘致のため、2021年3月15日（月）～19日（金）にかけてインターネット上で開催された「Aerospace & Defense Supplier Summit Seattle 2021（A&DSS 2021）」にオンラインで出展・参加したので紹介する。

1. A&DSS 2021の概況

(1) 開催概要

開催日程：2021年3月15日（月）～19日（金）

Seminar : 3月15日（月）

B to B meeting : 3月15日（月）
～19日（金）

主催者：BCI Aerospace

エアロマート・ツールズと並ぶ、航空宇宙分野における世界的なB to B meeting イベントである本商談会は、隔年開催で偶数年の3月～4月にボーイング社の本拠地である米国ワシントン州シアトル市で開催されており、今回で5回目の開催となるが、本来2020年4月の開催予定が新型コロナウイルス感染症の全世界での感染拡大により1年延期され、さらにインターネット上でのオンラインのみの開催に変更された。オンライン開催への変更に伴い会期が当初予定の3日間から5日間に延長された。

(2) 商談会の概況

開催規模および他のB to B meeting イベントとの比較を以下の表に示す。

本商談会は、航空宇宙分野の商談会としてエアロマート・ツールズと規模において双璧となるB to B meeting イベントであり、展示を中心とするパリ航空ショー、ファンボロー航空ショーなどと異なり、各出展者の展示は組織や企業の概要を示す最小限に近く、新規顧客や新規サプライヤを探す新しい協力関係を構築する商談がイベントの中心となっている。

また、開催がボーイング社の本拠地シアトルということもあり、ボーイング関係者によるバイヤーとしての登録が多数あり、製造関連のみならず技術サービスや研究開発の委託、旅客機から貨物機への改造事業、飛行試験の支援などボーイング社によるフルレンジでのステークホルダとの関係強化に向けた積極的な意気込みが感じられる。

表 A&DSS 2021 開催規模比較

	A&DSS 2021 (オンライン)	A&DSS 2018 (リアル)	エアロマート ツールズ 2020デジタル (注1)	エアロマート ツールズ 2018 (リアル)
参加企業・団体数	550社・団体	850社・団体	900社・団体	1,500社・団体
参加国数	25ヶ国・地域	35ヶ国・地域	40ヶ国・地域	45ヶ国・地域
商談件数	6,000件以上	10,000件以上	9,000件	16,000件

注1：主催者より速報値を聴取



図1 バーチャル展示場 入口



図2 アジア パビリオン (左下にSJAC出展)

出展者は、概ねサプライヤであって、主にOEMバイヤーの出展は非常に限られていたものの米国、カナダ、欧州、アジア、中南米の地域ごとのバーチャルホールで出展していた。(図1、2) バーチャル出展はBCI社が用意したバーチャル展示空間に、画像、動画、資料を掲示、入手可能とし、連絡先の送受やリアルタイム・チャットなどを実現し、インターネット上で展示会の機能を具現化していた。

企業の出展の他、カナダの各州、メキシコ、欧州ほか世界各国の航空クラスター、政府機関、工業会などが参加していたが、中欧、アジアなどの企業や工業会の参加は激減しており、地域によっては参加を見送った企業・団体が見られたものの、米国以外の参加者が60%をなす国際色豊かな商談会となった。参加企業・団体数は、前回の約65%に減少していたが、サプライヤの減少が大部分でコロナ禍の航空機製造・整備産業への影響の大きさを

反映している。

日本関連は、MHI RJアビエーション・グループ社のような日系の海外法人を含めSJACと合わせ7社・団体が出展していた。

また、初日3月15日のセミナーでは、ボーイング社のサプライ・チェーン戦略などの講演が行われた。

2. SJACの活動概況

SJACは2024年 国際航空宇宙展 (JA2024) への出展誘致を目的に、主に政府の産業振興機関、航空宇宙クラスター、OEMや主要ティア1を商談対象として参加した。(図3)

本商談会は、パリ航空ショーでも採用されているフランスのabe/BCI社が運営しており、過去の国際航空宇宙展 (JA) でも同じシステムをマッチングに利用している。マッチングの結果北米、欧州の13社・団体との面談が予定され、実際に10社・団体とオンライン会議を実施した。(SJACからの面談申し入れを



図3 SJACバーチャル展示ブース

10社・団体に行き、SJACへの面談要求が18社・団体からなされ、マッチング前の対象総計は28社・団体であった。サプライヤの平均商談実施数は主催者発表で14である。）

商談はシアトルの日中の時刻で設定され、大部分は日本時間で深夜から早朝となり、SJACの商談依頼は、日常業務と同時に対応することから、5日間で実施可能な面談数は16スロットと限られてしまい、お断りした相手は残念ながら多数となってしまった。日本企業との取引を望む声、団体相互の交流依頼などが多く聞かれ、JA2024出展による利用機会に理解が得られた。なお、JA2024でも、前回のJA2016/18でも導入し出展者からも好評を得た、商談会を実施予定である。

3. 所感

本商談会は、航空宇宙のサプライヤに特化したイベントであり、世界の550の企業・団体の約千名が参加するという、ボーイング社他に向けた売り込みを目的に多くの参加企

業・団体を集める、規模の大きな商談会であった。出展者の中には、前回までのJAに参加頂けなかった国の機関、航空クラスタの出展が多くあり、これらの出展者、関係者に対して、JA2024という、日本で開催される航空宇宙関連の展示会／商談会の存在を知ってもらう良い機会となり、充実した商談会となったと感じた。

また、A&DSSのような商談会での告知も、多くの国の企業振興を司る機関、団体などへの告知の場として有効であり、今回の様にオンライン開催の場合は、更に期間・費用面においても効率的で有効なものと感じた。

次回のA&DSSは、2022年4月11日（月）～13日（水）に米国ワシントン州シアトル市で従前のように、リアルで開催予定とのことである。特に商用航空機に関連して、顧客を海外に求め効率的に進めたい方々には、包括的に世界の生産環境と競争相手が概観できることから、A&DSS参加は非常に有効であると推薦する。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 調査部 部長 櫻井 浩己〕
澤井 規行